

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部地域づくり課		■担当係	生活安全係
■評価事業名称	交通安全推進事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	090100 - 302	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	03 安全・安心な地域社会の構築		
	■施策	04 交通安全対策の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令の実施義務(自治事務)			
■法令等の名称	交通安全対策基本法			
■関連計画の名称	北上市交通安全計画			
■事業の目的と概要	交通事故のない明るい社会実現のため、交通安全知識の普及や運動、啓発活動を実施。北上市交通安全計画に基づき、国、県等の各季節交通安全運動を警察署や交通関係機関・団体等と一体となって事業を実施、各地域の市民総参加による交通安全運動の展開、交通弱者保護のための交通安全知識の普及と交通安全意識の高揚を図る			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	交通安全推進事業	市民	各季節交通安全運動の実施、啓発 ・各行政区等での各季節交通安全運動の実施 ・交通安全教室の開催、広報、街頭指導(登下校時の街頭指導) ・啓発看板、のぼり旗の掲出(季節運動期間、年6回) ・交通安全施設等改善要望、点検 ・新入学児童へのランドセルカバー等の配布	各季節交通安全運動の実施、啓発 ・各行政区等での各季節交通安全運動の実施(年間5期 50日) ・交通安全教室の開催、広報、街頭指導(登下校時の街頭指導) ・啓発看板、のぼり旗の掲出(季節運動期間、年6回) ・交通安全施設等改善要望、要望件数 115件 ・新入学児童へのランドセルカバー等の配布(840名)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	552	770	704	967	
人件費	4,721	6,794	6,252	6,777	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,273	7,564	6,956	7,744	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	イベント・コンクール等の開催回数	15	15	15	15	
02	交通事故発生件数	275	249	222	204	交通事故発生件数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

交通事故発生件数は、順調に減少してる。また、交通死亡事故数は1人と過去最低水準となった。

問題点・課題等

交通事故は無くならないので、交通安全運動等は継続して続けていく必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了